

11月11日第3回上野台中学校区部会全体協議の概要

テーマ「上野台中学校区部会としての現時点でのまとめ」

【課題2】行政案やその他の方策について

★志手原小保護者委員より「中学校再編に関する提案」の資料提出および説明があった。

- ①行政案ありきではなく、子どものことを一番に考えて、真摯に協議を進めてほしい。
- ②地域の中には「三輪・松が丘を上野台中校区にする」案が良いという意見もあった。自転車通学が危険なら、遠距離通学の補助基準（4km）の見直しによりバス通学を検討しても良いのではないか。
- ③第3回八景中校区部会では、通学路の安全確保がされるなら、三輪・松が丘が上野台中に通うことに問題はないという意見も出ていた。
- ④現在、上野台中に通う生徒のバスのタイヤが部活動等に対応しているとは言えない。先のことも重要だが、今の子どものもっともしっかり考えてほしい。
- ⑤行政案およびその他の案については、志手原小委員からの提出資料にもあるように、統一した評価指標に基づいて、ていねいに説明してほしい。
- ⑥委員のみなさんが共通認識の出来るような具体的な内容の資料を作成し、次の部会までに各委員に送付してほしい。
- ⑦やはり小規模校から大規模校に行くことの不安がある。いじめ対策チームやスクールカウンセラーの設置などの対策が必要となる環境をなぜあえて用意しなければならないのか疑問である。
- ⑧事務局説明の統合時の具体的なケアの方策は、現在学校で何か問題が起こっていることを前提としているのではなく、みなさんが感じている不安の解消のために分厚く支援しようということではないか。
- ⑨元来、この協議会は、子どもたちのより良い教育環境を整えるために「上野台と八景を統合する」という行政案に「賛成か反対か」を協議する場であったはず。そのことを忘れずに、方向性が見えるような会にしてほしい。
- ⑩自分の経験から、小さな学校から大きな学校に行く時には、プレッシャーや心配があると思うが、子どものことなのですぐに慣れた。子どもは小学校から大学までどんどん大きな規模の学校に通うことになる。少しずつ大きな規模に慣れていく、そのような成長の段階が必要ではないか。

11月9日第3回八景中学校区部会全体協議の概要

テーマ「八景中学校区部会としての現時点でのまとめ」

【課題1】めざす学校像について

- ①2校の統合により今以上に子どもにとって素晴らしい学校（現在の2校の取組・特色を踏まえて）
- ②子どもの個性が大切にされる学校
- ③地域と密接な関係が築ける学校（コミュニティ・スクール）
- ④他市や他の学校とは違う独自の学校像を見出していきたい。
- ⑤未来を担う子どもの育成という観点で学校教育の充実を

【課題2】行政案やその他の方策について

- ①八景中の課題解決のために、条件（場所・通学手段など）付きだが、行政案に賛成
- ②少人数学習も必要だが、ある程度の人数がいないと出来ない教育もある。子どもの選択肢を増やす、多様性を培うことを大切にしたい。
- ③コミュニティにおける学校の役割（避難所など）にも配慮が必要
- ④上野台中部会から出ている「松が丘小・三輪小を上野台中校区に」という意見に対して、
「八景中の課題解決にならない」「交通量が多く歩道がない場所があり、通学に危険がある」
「松が丘は小規模校なので、いきなり大規模校に行くより、一旦上野台中に行ったのちに統合校に行けばよいという意見もある」
「歩道を広げるなどの施策があれば、上り坂のしんどさは考えなくてよいのではないか。その坂の辺りに学校を新設すれば、八景中の子の自転車通学も減る」
「この方策について地元で協議していないので、検討する時間が必要」などの意見が出た。（___の詳細は、第3回八景中部会会議録P7～9を参照ください）

【課題3】新設校の場所、通学手段および通学の安全確保について

- ①通学手段の確保は大変重要。統合の賛否を決めるためには、具体的な方策を示す必要があるのではないか。
- ②子どもにとって一番良い方法は、通学バスの確保ではないか。

【課題4】子ども・保護者へのケアについて

- ①小規模校から大規模校に変わる子どもの心理的な影響に対するケアが必要である。
- ②統合までのスケジュールの中で子どもの負担を軽減する方法を考えてほしい。

【課題5】その他（協議の進め方など）

- ①幅広く保護者の意見を聞くために、アンケートを実施してはどうか。